



座間市市民協働課
令和3年4月20日受付
第 号

相互提案型協働事業実施報告書

2021年4月20日

(宛先) 座間市長

団体住所 座間市入谷西 5-4-19
 名称 座間子育て応援プロジェクト!
 代表者氏名 高澤 真奈美 
 市担当課 子ども政策課
 所属長 柏木 理 

次のとおり報告します。

1 事業名	子育て家庭が暮らしやすい環境づくり支援事業
2 事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	2019年度選考 (2020年度実施)
4 報告期間	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
5 事業費	500,000 ^{344,256} 円 (うち座間市支出分 500,000 ^{330,236} 円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>子育てには様々な情報と知識が必要と考え、地域の子育て情報の集約と発信を行いました。</p> <p>座間市内や近隣で行われている子育て家庭に必要なと思われる情報を集めたホームページ、『子育て応援ひろば ざますく』を子ども政策課と協働で作成し、行政サポート、相談、緊急連絡先などを掲載しました。また、これらの情報媒体を積極的に拡散すべく、SNSを使って配信しました。</p> <p>さらに活きた子育て情報を発信すべく2020年10月～11月で『なんだってできる!子育てリアル&オンラインフェスティバル』を開催し、250名以上の方にご参加いただきました。リアルでは体験型のイベントを中心に行いました。またオンラインでは、「親子体操」や「親子ヨガ」などの体験型、「子どもの靴の選び方」「子どもの姿勢講座」などを開催しました。子育て支援センターのサテライトの設置や、1週間の見逃し配信など好評いただきました。</p>
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ()

相互提案型協働事業評価シート

事業名	子育て家庭が暮らしやすい環境づくり支援事業
-----	-----------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	<p>所期の目的は、十分達成できましたか。</p> <p>達成できた。</p>	<p>親子参加型の子育てイベントの開催や子育て情報ウェブサイトの作成により、子育て家庭が暮らしやすい環境づくり支援を十分に達成することができた。</p>
事業成果・効果	<p>事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。</p> <p>『何だってできる！子育てリアル&オンラインイベント』を開催し、コロナ禍でも子育て家庭の交流の場、また子育て支援者の繋がりを作ることができた。オンラインでは子どもと一緒に安心して子育て知識を得られる環境づくりができた。</p> <p>『子育て応援ひろば ざますく』のホームページ作成では、様々な課の散らばった子育て情報を集約することができ、令和3年度より実用的な運用を開始していく。SNSでは、徐々に登録者数が増えており、地域の情報を求めている子育て家庭が多いことに改めてこの事業の必要性を感じた。</p>	<p>来場型のイベントとオンライン会議システムを利用したイベントに、延233組の親子が参加し、子育てに必要な情報を提供したり、参加者同士が交流したりする機会を作ることができた。特にオンライン会議システムを利用したイベントについては、市では運用することが環境的に難しかったため、民間団体との協働によりいち早く開催することができた先進的な事例となった。</p> <p>また、協働事業の強みを生かし、行政と民間の子育て情報を一つにまとめてわかりやすく発信する子育て情報ウェブサイトを作成することができた。</p>

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	<p>十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。</p> <p>できたと感じる。</p>	<p>日頃から十分に連絡を取り合い、事業の目的・課題等を確認しながら進めることができました。</p>
事業の進行管理	<p>進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。</p> <p>連絡係が市役所を訪れる他、メールや電話などで情報交換を行ってきた。コロナ禍でスケジュールの大幅な変更を余儀なくされたが、相互に連絡を取れたおかげで見直しを行うことができた。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、当初予定していたイベントを中止とせざるを得なかった。しかしすぐに企画内容をコロナ禍でも実施できる内容に見直し、感染症対策を徹底した来場型のイベントや、オンライン会議システム ZOOM を利用したイベントを開催することができた。</p>
対 等 な 関 係	<p>協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。</p> <p>十分にできた。</p>	<p>それぞれの立場から意見を出し合い、対等な関係で協議することができた。</p>
相 互 理 解	<p>相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。</p> <p>会話の回数を重ねることで、築けたと感じている。</p>	<p>お互いの強みや特性を生かしながら、事業を実施することができた。</p>

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	(団体の役割) ・イベントの企画、広報、運営。 ・ホームページの作成、子育てに必要な情報の配信。	(市の役割) ・広報。 ・会場の確保。 ・参加者申し込みの受け付け。 ・会場の設置。 ・市の子育て情報提供。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	ボランティア団体として業務過多ではあった感はあるものの、適正であったと思われる。	お互いの強みを生かされたため、適正なものだった。
実施結果	設定した役割分担を果たすことができましたか。	
	果たすことができた。	一定の役割を果たすことができた。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	行政の情報の収集は、当団体だけで行うことは不可能であった。協働だからこそ実施できたと感じる。	現在座間市内で子育てをしている親の目線から子育て世代のニーズに沿ったものを企画することができた。また、行政ではつかみきれない子育て団体が持つ情報や専門性を取り入れることができた。

4 今後の具体的な展開

<p>事業の波及効果</p>	<p>今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。</p>	
	<p>(団体の考え) ホームページ作成事業はこれから始まるので、今後の安定した運用に注力していく。 イベント事業ではリアル&オンラインを必要に応じて通年展開していくため、運営だけでなく地域の子育て支援者の育成にも尽力していく。</p>	<p>(市の考え) 座間市では、将来的に人口減少が見込まれているため、子育て世代が暮らしやすい環境づくりにより一層取り組んでいく必要があると考える。そのためには、現役で子育てをしている方の意見を取り入れながら、事業を実施していくことも望ましい。 今後も市民協働により、民間と行政の強みを生かしながら事業展開し、座間市子育て支援の充実に努めていきたい。</p>